カマキリの生存競争は激戦

オオカマキリは卵から孵化後、一週間ごとに半数になっていった。
生まれた子を半分に分け、一つは大きい空間、もう一方は5チームに分けた。



オオカマキリの卵（卵鞘）にはたくさんの卵が入っているよ！

この卵から136匹の幼虫が生まれました！

孵化直後のカマキリ（全部で136匹）



生き残るのが難しい生き物なんだと感じた。

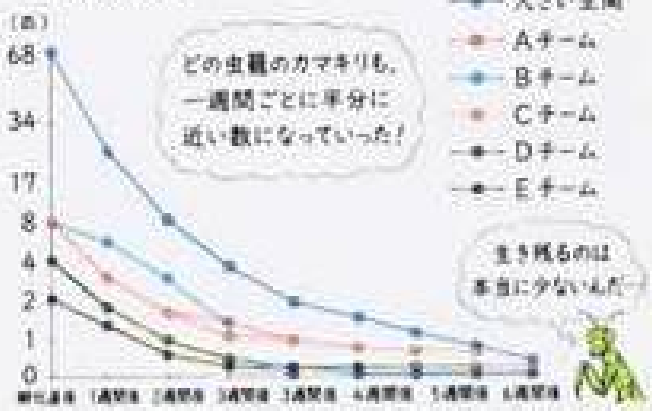
- 大きい空間（68匹）
- 5チームに分ける（各13匹）
  - Aチーム（13匹）
  - Bチーム（13匹）
  - Cチーム（13匹）
  - Dチーム（13匹）
  - Eチーム（13匹）



結果（6週間後まで）

（匹）	大きい空間	Aチーム	Bチーム	Cチーム	Dチーム	Eチーム
孵化直後	68	13	13	13	13	13
1週間後	34	6	7	6	6	6
2週間後	17	3	3	3	2	3
3週間後	8	1	1	1	1	1
4週間後	4	0	0	1	0	0
5週間後	2	0	0	1	0	0
6週間後	1	0	0	1	0	0

結果のグラフ



大きい空間
6週間後まで、生き残ったのは…
1匹！

Aチーム
6週間後まで、生き残ったのは…
0匹！

Bチーム
2週間後 3匹
3週間後 1匹
それ以降はいなくなった…

Cチーム
最後まで生き残ったのは…
1匹！
（5週間後も1匹だった！）

Dチーム
2週間後 2匹
3週間後 1匹
それ以降はいなくなった…

Eチーム
3週間後までに、いなくなった…



まとめ

虫の王者というイメージがあったが、生まれてすぐより、兄弟同士の争いが始まることがわかった。
1週間ずつ約半数となり、成虫になれるカマキリは136匹中わずか2匹、生存率1.47%と少なく、貴重な存在であることがわかった。
大切な命として愛でていきたいと思う。

結果（6週間後まで）